

補助金チェックシート

(1)

①補助金名称		グリーンカーテン事業補助金								課内No.	6
事務事業名		身近なみどりの創出				担当所属名	公園緑地課				
②事業期間		始期	平成25	～	終期	継続					
③補助金の分類【選択】		②事業補助				④性質【選択】		①市単独			
⑤予算科目		会計	01	款	08	項	04	目	04	細目	540
⑥根拠法令・規程		(公財)長岡京市緑の協会補助金交付要綱									
⑦必須業務の有無【選択】		無	内容		-						
⑧補助金開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		平成24年の夏は、計画停電の実施に備え、庁舎等の公共施設の節電に取り組むため、長岡京市緑の協会や環境政策監と共にグリーンカーテンを設置し、散水等は各部署協力のもと取り組み、節電や環境、緑化などの啓発を行い、一定の効果がありました。 この取り組みを今後も継続し、ヒートアイランド対策、省エネ、節電、地球温暖化対策、景観の向上、緑化啓発に加え、環境学習の推進も行う必要が求められました。									
⑨補助金開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		-									
⑩補助金の目的		グリーンカーテン講習会や、市役所各部署協力のもと公共施設のグリーンカーテン化、自治会・小学校への出前講座、グリーンカーテンコンテストなどの施策を実施する(公財)長岡京市緑の協会の事業の一部を補助します。									
⑪補助金の内容	対象者・団体等	公益財団法人長岡京市緑の協会									
	対象者・団体等が補助金で行う活動	団体が定める事業実施要綱に基づき、講習会やコンテストの開催経費、花苗やプランター、ネットなどの購入及び設置の支援を行います。									
⑫補助金の成果 (誰にどのような成果があるか)		ヒートアイランド対策、省エネ、節電、地球温暖化対策、景観の向上、緑化啓発、環境学習に効果があります。									
金額(円)／年度		25年度決算		26年度決算		27年度予算					
⑬財源内訳	国庫補助金	-		-		0					
	府補助金	-		-		0					
	その他補助金	-		-		0					
	一般財源	500,000		555,000		555,000					
	合計	500,000		555,000		555,000					
	前年度比(今年度－前年度)	-		55,000		0					
業⑭の団 体 務 又 は 事 務	(団体運営補助の場合)団体の決算・予算 (事業補助の場合)事業の決算・予算	600,000		600,000		600,000					
	繰越金	-		-							
	市の補助金の割合	83.3 -		92.5 -		92.5					

補助金チェックシート

(2)

補助金名称(再掲)		グリーンカーテン事業補助金		担当所属名(再掲)	公園緑地課	課内No.	6
視点	点検チェックポイント			チェック・記述欄			
⑮ 必要性	市民ニーズや社会情勢の対応として、補助金目的が補助金の開始時点と比べて希薄化していない						
	市において目的が類似した補助金がない			はい			
	補助金で行われる活動に対して、市が関与する必要性がある						
	市が補助金支出という手段で対象者・団体等に関与する妥当性がある						
	法令、計画、通達などにより市の補助金の支出が定められている			いいえ			
	市民の必要最低限度の生活の維持に関して、必要不可欠な補助金である						
	市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響がある			いいえ			
⑯ 優先性	補助金の目的・内容・実施時期に緊急性が認められる			いいえ			
	補助金の支出により第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させることができる			はい		都市緑化の推進	
	補助金の支出により自治体間でのサービス内容に差がつけられたり、地域の魅力が増すことができる。			はい		緑化のみならず、地球温暖化防止、節電対策、景観など地域の魅力が増します。	
	施策として遅れており、弱点を補完する補助金である						
	住民の参画または主体的な活動を促進する目的がある						
	市民ニーズや社会情勢の多様化に対応するため、補助金の対象や内容について見直しを行っている						
⑰ 公平性	わかりやすい情報発信を行っている			はい		ホームページでPRします。	
	補助金対象団体の会計担当者の押印ある決算報告書並びに第三者の会計監査を受けた書類等の作成、提出がなされている(※個人補助はチェックしなくてよい)						
	公募制度を導入している						
	補助事業者や団体において、適切な受益者負担を徴収している						
	多くの住民、広い地域に還元する活動や事業である(※人口でおおよそ10%、地域で小学校校区程度)						
⑱ 効率性	過去3年以内に補助金の内容・補助額等を見直した						
	事業または団体に対する補助割合が半分以下であり、零細補助でない(※零細補助とは、5万円以下の補助)						
	具体的に説明できる費用対効果がある						
	補助金としての期限、終期を設定している						
⑲近隣市町の状況【選択】		本市のみ実施	他市町の事例	公益法人が主体的に実施し、公共施設で全庁的に取り組んでいる例は少ないです。			
⑳26年度の取り組み(昨年度)		(公財)長岡京市緑の協会が主体的に実施する公共施設のグリーンカーテン化や、市内小学校で出前講座、グリーンカーテンコンテストなどの取り組みました。					
21)27年度の取り組み(今年度)		(公財)長岡京市緑の協会が主体的に実施する公共施設のグリーンカーテン化や、市内小学校で出前講座、グリーンカーテンコンテストなどの取り組みを進めます。					
22)28年度の取り組み(来年度)		(公財)長岡京市緑の協会が主体的に実施する公共施設のグリーンカーテン化や、市内小学校で出前講座、グリーンカーテンコンテストなどの取り組みを進めます。					
23)今後の方向性【選択】		現状維持	今後の取り組み	出前講座の回数を増加するなど、より広く市民に都市緑化と環境保護に対する意識を高められるよう取り組みを継続して行います。			
24)その他特記事項(留意事項など)		-					